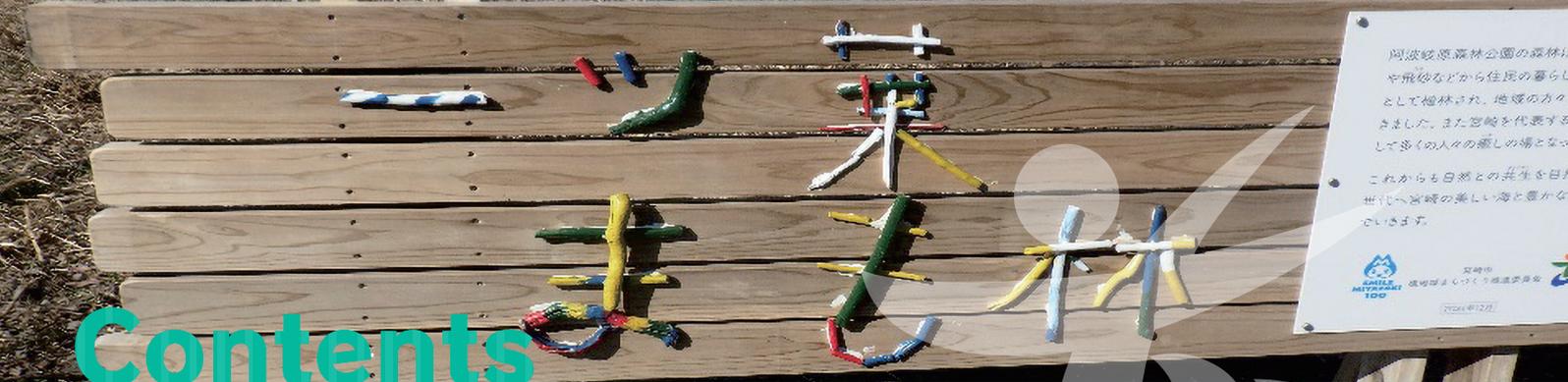




あおき



Contents

檜地域まちづくり推進委員会	P2~6
檜地域自治区地域協議会	P7~8
檜地区交流センター	P9
宮崎地区交流センター	P10
檜地域事務所	P11
檜地区社会福祉協議会	P12~14



広報「あおき」は「地域コミュニティ活動交付金」を活用して発行しています

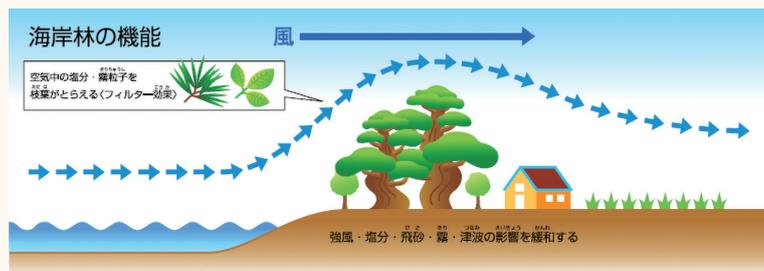
次世代につなぐ一ツ葉防風・防潮林「一ツ葉まも林」活動

一ツ葉地域は、檜地域の海岸部のシーガイアや宮崎市フェニックス自然動物園、フローランテ宮崎などがそろい、宮崎県の中でも多くの方が訪れる観光スポットです。広大な松林は、美しい景観と環境の保全に欠くことのできない重要な資源であり、地域住民の生活とも密接に関係してきた長い歴史もあります。

しかしながら、この数年、松くい虫による松枯れが発生し、被害の拡大を防ぐために、毎年、伐採処分が行われています。



立ち枯れの様子



防風林の機能

特に、前浜地区の住宅地に隣接する国有林の一部は被害が甚大で、著しく疎林化し景観面でのイメージダウンや防風・防潮機能低下による生活環境の悪化が緊急な課題となっています。

一昨年12月、当推進委員会が中心となり檜地域管内にある小・中学校や地縁

団体、一ツ葉地域にある各施設等に呼びかけて本活動の発足にいたりました。

定期的に行う実行委員会を開催し、国有林の疎林化が著しい地帯の現状報告や現地視察、植林計画について、阿波岐原森林公園管理事務所からのアドバイスを受けながら話し合いを行い植林を令和6年12月1日(日)に実施することができました。

この事業の名称は、子どもから大人まで巻き込んで次世代へ引き継いでいきたいと、檜地域の小中学生を対象に募集を行いました。59通の応募があり、選考は未来を担う小中学生の感性に委ねたいと檜中学校と宮崎中学校が行っている意見交換会を選考の場としました。阿波岐原森林管理事務所から一ツ葉海岸林についての説明を受けた後、生徒たちがグループワークで優秀作品7点を選び、その中から更に2点まで絞り込んだ後の決戦プレゼンテーションによる最終投票の結果、檜小学校2年生前田花朋(まえだ かほ)さんの「一ツ葉まも林(まもりん)」が選ばれました。



名称選考の様子

植林の事前準備として、11月中旬植林場所の草刈や苗木の位置だし等地域の団体の皆さんの協力で行いました。植林当日の12月1日には、家族や団体の方々、地域内企業の方々他約380名の協力を頂き、苗木550本を無事植林することができました。参加された皆様、ご協力いただきありがとうございました。令和7年度も、植林場所を移動して実施します。ぜひご協力をお願いします。



植林作業

【一ツ葉まも林協力団体】敬称略

檜北小学校 / 檜小学校 / 宮崎港小学校 / 潮見小学校 / 檜中学校 / 宮崎中学校 / 檜地区自治会連合会 / 檜地区自治公民館連絡協議会 / 檜地区社会福祉協議会 / 檜北・南地区民生委員児童委員協議会 / 檜地区青少年育成協議会 / 宮崎県ガールスカウト第20団 / 日本ボーイスカウト宮崎連盟 / 宮崎森林管理署 / 一般財団法人みやざき公園協会 / フェニックス・シーガイア・リゾート / 樹木医 / 株式会社坂下組 他

この一年を振り返って

憶地域まちづくり推進委員会
会長 松竹 昭彦

皆さん・・・お元気ですか？

令和6年度もあっという間に終わりを迎えようとしています。コロナはなんとなく遠ざかりましたが、インフルエンザなどが猛威を振るっていますね。お変わりありませんか？

さてさて、世界各地で自然災害や争いが絶えず、国内外の政治も変化が著しく目が離せない状況です。地域の皆さんには大きく影響はないと思いますが、実は私たちの地域まちづくりも令和7年度から制度が変わります。

いろんなことがあります、私たち憶地域は、地域の強く優しい結束力で、これまで通り・・・元気よく未来に夢と希望をつなぐ「憶・活気・元気(A・K・G)のまちづくり」・・・の歩みを進めています。この一年大変お世話になりました。来たる令和7年度もよろしくお願いいたします。

まちづくりの祭典 in あおき・憶地区健康ふくしまつり状況



今年も隼ジュニア太鼓さんの演奏で祭典スタート!



宮崎中学校放送部の生徒さんがステージのアナウンスを担当!



お披露目間もない「みやねこ」もステージで国スポのダンスで盛り上がりました。



憶北小合唱部全国大会金賞の歌声も響き渡る会場でした。



曾於市憶地区南之郷もりあげ隊・生目地区振興会からも出店していただきました。



ヴィアマテラス宮崎の選手が子どもたちとサッカーで盛り上がりました。



天候にも恵まれ今までで最多の来場者数となり最後のせんぐまきまで多くの人に楽しんでいただきました。



表彰

(敬称略)

★ **全国民生委員児童委員連合会会長表彰 / 優良民生委員児童委員協議会表彰**
 檜南地区民生委員児童委員協議会

★ **全国民生委員児童委員連合会会長表彰 / 永年勤続民生委員・児童委員表彰**
 赤星 光宏 (檜北地区民児協) 岡田 泰藏 (檜南地区民児協)
 篠崎 夫左与 (檜南地区民児協) 久場 智子 (檜南地区民児協)
 増田 美代子 (檜南地区民児協)

★ **宮崎県社会福祉協議会会長表彰 / 永年勤続民生委員・児童委員表彰**
 伊関 富子 (檜北地区民児協)

★ **宮崎市社会福祉大会市長表彰(9年)**
 仁田脇 真由美 (檜北地区民児協)
 小田 ノリ子 (檜北地区民児協)
 宅間 俊明 (檜南地区民児協)

★ **宮崎県社会福祉協議会会長表彰 福祉協力員13年以上**
 黒木 健史 弓場 照美
 高橋 英子 青木 郁美
 宮田 百枝

★ **宮崎市社会福祉協議会会長表彰 社会福祉事業協力者**
 井出 和子
 日高 喜江
 岩切 貴志子

★ **全日本交通安全協会 防犯功労団体表彰**
 高洲おしゃべりサロン

★ **全日本交通安全協会 交通栄誉賞緑十字銅章**
 上野 和彦

★ **九州防犯協会 防犯功労者表彰**
 東 登志恵 (青少年指導委員 檜班)

★ **宮崎県防犯協会 防犯功労団体表彰**
 一の宮交番連絡協議会防犯パトロール隊

★ **宮崎市防犯協会 防犯功労者表彰**
 神川 考央 (青少年指導委員 檜班)

★ **宮崎市花のまちづくりコンクール市制百周年記念**
 最優秀賞 団体活動部門 新別府自治会
 優秀賞 学校部門 田代保育学園

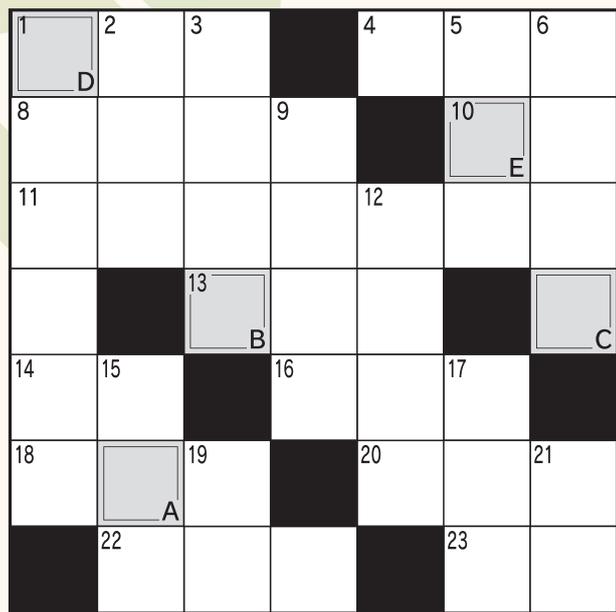


みんなで解いて
応募してね!

憶クロスワード

応募締切

5/9金
当日消印有効



一ツ葉



A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

インフルエンザの予防

インフルエンザとは、38度以上の発熱や寒気、全身の痛みやだるさなどの症状が現れる病気です。



【インフルエンザから身を守るための予防】

- 正しい手洗いをしましょう。帰宅時や調理の前後、食事前にこまめに手を洗いましょう。
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取に心がけましょう。
- 適度な湿度を保ちましょう。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適度な湿度(50~60%)を保つと効果的です。
- 人混みや繁華街への外出を控えましょう。インフルエンザが流行してきたら、特に高齢者や持病のある人、妊娠中の女性、体調の悪い人、睡眠不足の人は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず人混みの中に外出する場合は、飛沫感染等を防ぐことができる不織布(ふしょくふ)製マスクを着用することも一つの防御策です。
- 室内ではこまめに換気しましょう。一般家庭でも建物に組み込まれている常時換気扇設備や台所・洗面所の換気扇により、室温を大きく変動させることなく換気を行うことができます。常時換気設備や換気扇を常時運転し、換気を確保しましょう。

タテのヒント

1. 陶磁器を1ヶ所に集めて販売すること
2. 床や壁などをぬる職人さん
3. 日陰で、じめじめしていること。〇〇〇〇ないじめ
5. 重要な地位、職務のそばにいて、機密の文章や事務を扱う人
6. 商店や旅館などで帳面つけや勘定などをする場所
9. 相撲の星取表で、勝った時の印
12. 血まみれのべつめの言い方
15. 体長30cm前後で鋭い歯をもつ魚
17. 道路工事などでまわり道をすること
19. 旧国名の一つで今の和歌山県と三重県の一部
21. 高い所から垂直または急角度に水が落下する場所。
華厳の〇〇、関之尾の〇〇

ヒツツのヒント

1. 畑で栽培して食用とする草木植物の総称
4. 南太平洋諸島のフランス領ポリネシアで最大の島
8. 新聞や雑誌などを、1年に4回発行されるもの
10. 夏の暑い時節。〇中見舞い
11. 羽は白く、前の中央に黒点がある蝶
13. 花がつぼんで、まだ開かない状態
14. 足が10本ある頭足類の軟体動物
16. 動き始めること。エンジンを〇〇〇する
18. うるちの粉やもち米を練り笹の葉で包んだ端午の節句お菓子
20. 道路に接続して設けられる帯上の道路部分
22. 水を送る通路。陸路←〇〇
23. 呼気と吸気、呼吸のこと。ため〇〇をつく

賞品はこちら



@aoki_machi

憶のアレコレ 更新中!



広報誌あおきInstagram

応募方法

はがき、FAX、メール、持参可(用紙の形式は問いません。)必要事項を明記の上、ご応募下さい。
①答え、②住所、③お名前、④年齢、⑤電話番号、⑥憶のまちづくりについてのご意見をお書き添えの上、ご応募下さい。正解者の中から抽選で5名の方に憶地域の特産品を差し上げます。
※当選者には事務局よりご連絡差し上げます。
※なお賞品を事務局まで取りに来ていただける方に限らせていただきます。

応募先

憶地域まちづくり推進委員会事務局
〒880-0841
宮崎県宮崎市吉村町江田原甲265-1
TEL:28-0101 / FAX:83-0050
E-mail:aoki-machi@miyazaki-catv.ne.jp



檉地域自治区地域協議会

4月から

平成18年に導入した地域自治区制度^{*}を終了し、地域まちづくりは地域まちづくり推進委員会を中心とした仕組みに変わります。



サポート
財政支援



総合支所・地域センター・地域事務所

地域住民に最も身近な行政機関として住民の意見調整や地域団体などとの連絡調整を行います。また、日常生活や地域活動における困りごとの相談対応も行っています。

地域まちづくり推進委員会(まち推)

地域の特性を生かした魅力あるまちづくりや、地域課題の解決のためのさまざまな活動を行っています。

※地域自治制度＝市町村を「より小さなエリア(＝地域自治区)」に分け、住民の意思を反映させる仕組みを法律(地方自治法)によって定めた制度。今年3月で終了します。



地域まちづくりの
中心的な存在に!



第10期 檉地域自治区地域協議会 会長挨拶 井野 三男

平成18年に導入された地方自治法に基づく地域自治区制度は令和6年度をもって終了するため、地域協議会も終了となります。地域協議会は地域内の団体からの推薦や公募を含め20名で構成され、まちづくり推進委員会の事業に対する意見交換や、各団体との連絡・調整を図るとともに、地域の課題を解決するための意見を市長に提言してきました。



“夢と希望が育つまち檉”のキャッチフレーズ、そしてA(檉)K(活気)G(元気)プロジェクトをワークショップで検討したことを懐かしく思い出します。現在の檉地域まちづくり推進委員会の活動は間違いなく市内でNo.1だと感じています。地域協議会の多くの委員がそれぞれの部会での活動も行っています。令和7年度からはまちづくり推進委員会を中心とした地域づくりになりますが、これまでの地域協議会に代わって住民の意見を吸い上げ、また地域課題に関する市長への提言もお願いします。

永い間議論してまいりました檉地区交流センターの移転建替えについては最終段階となっています。令和9年度下半期開館予定ですので、新しい地区交流センターでもお会いしましょう!

今までご協力いただいた多くの委員の皆様、事務局としてご協力いただいた地域事務所の皆様、更に永い間ご協力ご支援いただいた地域の皆様へ感謝申し上げます。

憶地区交流センター(旧憶公民館)が移転します！

現在の憶地区交流センター



交流センターの本館と隣にある体育館、南側にある憶地域事務所の建物は取り壊し、一帯が新たな公園になる予定です。

新しい憶地区交流センターの建設予定地 (南側 江田原ふれあい広場)



新たに建設される交流センターの中に「憶地域事務所」「憶地域まちづくり推進委員会」「憶地区社会福祉協議会」も入ります。

憶地区交流センター整備運営事業の優先交渉権者が決定しました

優先交渉権者:あおきデザインプロジェクト

代表企業	株式会社 南九州プロジェクト
構成企業	株式会社 山田伸彦建築設計事務所
	株式会社 矢野興業

施設のコンセプト 【交流センターを地域のサードプレイス※に】

※サードプレイス(Third Place)とは自宅や学校、職場でもない居心地の良い「第3の場所」を指します。

幅広い世代が利用できる交流センターを目指し、交流センターのコンセプトを設定しました。

みんなが使えるフリースペースやキッズエリア、図書スペース、集中して勉強するためのスペース、カフェ、貸農園など様々な機能を備えた交流センターを建設予定です。これまでの交流センターとしての機能はもちろんのこと、施設に備わる様々な機能をどう活用していくかは地域の皆様と一緒に作り上げていきたいと考えています。開館は令和10年1月を予定しています。

移転建替えスケジュール予定

R6						R7		R8		R9	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~9月	10~3月	4~9月	10~3月	4~12月	1月
公募期間			審査	協定・契約			設計施工				開館
											令和10年1月 開館予定

設計建設期間：議会の議決日(R7.6月予定)~令和9年12月10日

開館準備期間：令和9年9月~開館日

指定管理期間：令和10年1月~令和20年3月31日(10年3カ月)



つどろ まなぶど むすぶど

憶地区交流センター

吉村町江田原甲265番地1

TEL: 28-1138

FAX: 25-9934

はたちの集い

今年の「はたちの集い」は、多数のご家族やご来賓・恩師の先生方をお招きし開催することができました。はたちを迎えられた総勢165名の皆さんは、凛々しい姿で参加されていました。ご来賓の代表の方からは祝辞を頂き、「はたち」の代表者も大人としての決意を堂々と披露されていました。また当時に思いをはせ、恩師の方々や中学在籍時の仲間と和やかな時間を過ごされていました。

はたちを迎えられた皆さんが、今後ご活躍される事を祈念しております。

- ◆ 令和7年1月12日(日)
- ◆ 憶中学校体育館



代表誓いのことば
高橋 ひよりさん



来賓代表祝辞
石田 耕作さん



代表誓いのことば
待鳥 堅太郎さん



文化祭

20 YEARS



昨年10月27日、憶地区文化祭が行われました。9団体による熱演と、20団体の作品展示があり、ご来場の皆様は感動と楽しいひと時を過ごされていました。

令和7年度憶地区交流センター前期講座

詳しくは令和7年度「まなぶど」に掲載されています。

前期：講師			
木工講座	井上家具制作室	親子陶芸教室	瀬尾 哲代
ウクライナ料理講座	ヴォロキティナ オレナ	子ども書道講座	伊東 千穂
つまみ細工講座	玉利 由紀子	そば打ち講座	荒瀬 悟朗
スパイス講座	スパイス チャンキー	数独土曜講座	日高 貢一郎
水彩画講座	高橋 和平	親子パン講座	渡邊 玲子
パッチワーク講座	外尾 喜代子		

宮崎地区交流センター

あつまる まなぶ つなぐ

宮崎市吉村町ハシテ甲2386番地139
TEL:20-3512 FAX:24-2492

令和7年宮崎地区はたちの集いが1月12日(日)、9時45分から宮崎地区交流センターで開催されました。式典前のアトラクションでは、宮小獅子保存会の舞で始まりました。小・中学校の恩師等を来賓にお迎えし、厳粛で素晴らしい「はたちの集い」を開催しました。新成人138名の門出を家族や地域の方々と一緒に祝って祝福いたしました。新成人実行委員のさんも進行からいろいろな担当を務め、ふれあい交流会では、趣向を凝らした抽選会を盛り上げてくれました。はたちの集いにあたりまして、恩師の皆様、地域の皆様、宮崎市きずなプロジェクトの皆様、各小中学校の先生やPTA役員、各自治会の皆様、宮中の生徒の皆様にご協力いただきました。心からお礼申し上げます。

◎令和7年「はたちの集い」から(一部紹介します)



真剣な表情で写りました



アトラクション(宮小獅子保存会)



守永泰雄実行委員長の挨拶



新成人誓いの言葉



ふれあい交流会





★憶地域事務所で**証明書**を発行しています。



交付の際には
本人確認を
行っています。

- 住民票の写し・住民票の記載事項証明書 ●市税に関する諸証明書（所得証明書等）
- 戸籍謄本・戸籍抄本・身分証明書等（本籍地が宮崎市の方のみ）
- 印鑑登録証明書（印鑑登録番号証書もしくは有効期限内の住基カード、個人番号カードと4ケタの暗証番号の入力が必要です）
- 代理の場合、本人からの委任状が必要になることがあります。事前にお問い合わせ下さい。
- はり・きゅう・あんま施設利用者証（国民健康保険、後期高齢者保険医療加入者が対象）

※滞納無証明は市民課・総合支所での発行となり、地域事務所では発行できません。

※マイナンバーカード（個人番号）の申請・受け取り・更新はできません。

※住民異動や戸籍の届出、印鑑登録、市税等の申告や納税はできません。

詳しくは、宮崎市のホームページをご覧ください。

《窓口業務》月～金曜日 8時30分～17時15分 ※土、日、祝休日、年末年始はお休み。【TEL:28-1111】

※令和7年6月からは下記のとおり変更となります。



宮崎市役所の開庁（来庁受付）時間が変わります

令和7年6月 から

市役所の全庁舎（保健所含む）、総合支所、地域センター、地域事務所の開庁時間が

8:30～17:15 ▶ **8:45～16:30** に変更になります

※交流センターや図書館、体育施設など市役所外の公共施設等は含みません

電話対応時間（8:30～17:15）は変更なし ※コールセンター8:00～17:15

開庁時間とは

- 市役所へ来庁された方に対するの受付時間を指します

※窓口対応を含むすべての業務が対象となります



あおき人^{no.17} 地域の話題の人を紹介していきます。

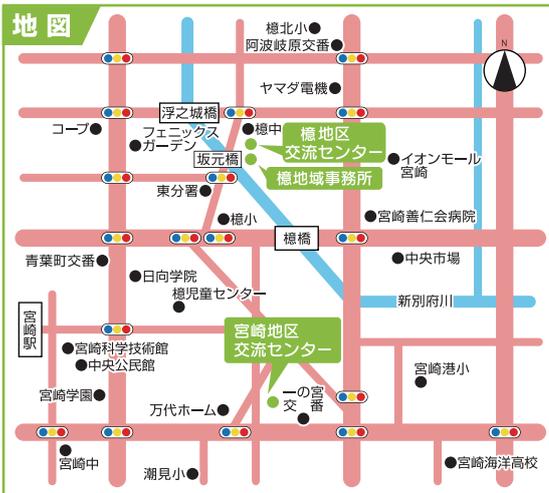
中原 邦博さん(71歳) 憶地区自治公民館連絡協議会会長

今回ご紹介するのは憶地区自治公民館連絡協議会会長の中原邦博さんで、先祖代々阿波岐原町火切塚にお住いの、憶小・憶中卒業生です。

中原さんは、昭和51年宮崎大学教育学部を卒業され、その後愛知教育大学大学院を修了し宮崎県教育庁に採用になり、県内各地の教育事務所に勤務されました。平成24年赤江中学校校長を最後に定年退職され、その後令和4年3月までの10年間、宮崎国際大学常勤講師として教鞭をとられ、若者の教育に心血を注がれました。

地域では、令和4年4月から阿波岐原町自治公民館長として、地域の花壇植栽などの美化活動や清掃活動、盆踊り大会、秋祭り等の地域住民の生涯学習推進にご尽力されています。令和6年4月からは憶地域内18自治公民館のリーダーとして憶地区自治公民館連絡協議会会長に就任され、生涯学習の推進や組織強化等各公民館運営の活性化に頑張っておられます。

今後も健康に留意され憶地区の自治公民館だけでなく、憶地域の更なる発展のためご活躍をお願いします。



宮崎市ホームページに「憶地域の情報」を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。➡

編集・発行 皆さまの声をまちしています!

<https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/>



憶地域まちづくり推進委員会

〒880-0841 宮崎市吉村町江田原甲265-1《TEL:0985-28-0101・FAX:0985-83-0050》

E-mail:aoki-machi@miyazaki-catv.ne.jp



賛助会員名簿 令和6年度

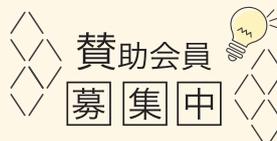
憶地区社会福祉協議会は、住民の皆様によって支えられている民間の団体です。
 「みんなが安心 助け合う 福祉のまち 憶」をスローガンに掲げ、多くの方々に賛助会員として
 ご協力いただき、心より感謝申し上げます。今後とも、ご支援、ご協力をお願いいたします。

団体会員

- ・ 中原南団地自治会
- ・ 浮城町自治会
- ・ 憶団地自治会
- ・ 新別府自治会
- ・ 阿波岐原前浜
- ・ 阿波岐原町区会
- ・ 潮見町自治会
- ・ 出来島町自治会
- ・ 宮下自治会
- ・ 大町区会
- ・ 山崎町区会
- ・ 寺ノ下高齢者クラブみどり会
- ・ 憶北地区民生委員児童委員協議会
- ・ 憶南地区民生委員児童委員協議会
- ・ 特別養護老人ホーム皇寿園
- ・ 皇寿園デイサービスセンター
- ・ 皇寿園在宅ケアセンター
- ・ 皇寿園在宅介護支援センター
- ・ 養護老人ホーム明星園
- ・ デイサービスひとつば
- ・ グループホームあおき園
- ・ グループホーム福寿園
- ・ グループホームあおぞら
- ・ 社会福祉法人 親和会
- ・ 特別養護老人ホーム長生園
- ・ 社会福祉法人 巴会
- ・ 障がい者支援施設 あすなろの里
- ・ 障がい福祉サービス事業所 阿波岐原通所センター
- ・ 児童発達支援センター わかば園
- ・ ケアセンター コンパス
- ・ 山崎保育園
- ・ みんなのせいかん
- ・ 憶小学校区子ども会育成連絡協議会
- ・ 高洲健康教室
- ・ みくに幼稚園
- ・ 寿井戸工事
- ・ 合同会社 flat
- ・ (有) もりなが
- ・ (有) リバーストーン

個人会員

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| ・ 粟田 昌 | ・ 清水 謙次 | ・ 廣田 美佐子 |
| ・ 石川 伸一 | ・ 隅井 貴子 | ・ 堀ノ内 寿郎 |
| ・ 伊関 富子 | ・ 高橋 美保子 | ・ 増田 美代子 |
| ・ 井野 郁子 | ・ 高島 恵子 | ・ 松竹 昭彦 |
| ・ 井野 縫子 | ・ 宅間 俊明 | ・ 三浦 一宏 |
| ・ 井野 三男 | ・ 竹下 昌巳 | ・ 三浦 禮子 |
| ・ 井野 良典 | ・ 立山 尚子 | ・ 安川 洋一郎 |
| ・ 岩切 とも子 | ・ 田村 十美子 | ・ 山元 美保 |
| ・ 岩本 喜樹 | ・ 田村 雅文 | ・ 弓指 敏子 |
| ・ 上野 和彦 | ・ 恒吉 千寿子 | ・ 吉田 寿 |
| ・ 上野 善一 | ・ 徳田 優子 | ・ 吉田 文子 |
| ・ 岡田 泰藏 | ・ 外山 百合子 | (五十音順) |
| ・ 小川 トク子 | ・ 中武 喜久代 | |
| ・ 小川 直子 | ・ 中原 邦博 | |
| ・ 小田 のり子 | ・ 中原 良治 | |
| ・ 甲斐 とも子 | ・ 灘岡 洋子 | |
| ・ 甲斐 裕二 | ・ 西野 悦子 | |
| ・ 金丸 信幸 | ・ 西野 宏 | |
| ・ 清山 榮美子 | ・ 仁田脇 秋義 | |
| ・ 清山 文治 | ・ 仁田脇 恵子 | |
| ・ 久場 智子 | ・ 仁田脇 滋 | |
| ・ 児玉 広義 | ・ 仁田脇 真由美 | |
| ・ 児玉 柁農夫 | ・ 畠山 弘 | |



憶地区社会福祉協議会の活動にご賛同いただき、
 賛助会費(年会費)を納入された方が賛助会員です。

団体会員 1口 1,000円～

個人会員 1口 500円～

愛のご寄付

憶地区社会福祉協議会への愛のご寄付(香典返し)
 ありがとうございました(令和6年8月～令和7年1月)

(香典返し)

- | | |
|---------|----------------|
| 石坂 好子 様 | 江田原 (石坂 盛明 儀) |
| 近藤 タエ子様 | 阿波岐原 (近藤 国幸 儀) |
| 宮路 みゆき様 | 前浜 (宮路 淳次 儀) |
| 長田 光代 様 | 山崎 (長田 喜美 儀) |
| 富永 邦好 様 | 山崎 (富永 クニ子 儀) |

(一般寄付)

- | |
|-------------|
| 憶地区自治会連合会 様 |
| 華陽会 様 |
| 弓指 敏子 様 |
| 矢野 和美 様 |

いただきましたご寄付は、憶地区社会福祉協議会の事業運営に有効に活用させていただきます。
 併せて故人のご存命中のご功績を讃え、深甚なる敬意を表しつつご冥福をお祈りいたします。



憶地区社会福祉協議会

〒880-0841
 住所 宮崎市吉村町江田原甲265-1 (憶地域事務所内)
 TEL・FAX (0985)-20-2147
 MAIL aokishakyo@miyazaki-catv.ne.jp

参観日一時預かり事業

宮崎港小 6月2日(日)
 潮見小 9月12日(木)
 憶北小 11月24日(日)
 憶小 2月14日(金)

認知症サポーター養成講座

憶北小4年生 6月27日(木)

寺子屋みんなの教室

宮崎港小 7月23日(火)
 潮見小 7月24日(水)
 憶北小 8月1日(木)
 憶小 8月2日(金)

見守りネットワーク全体研修会

7月28日(金)

**ささえ愛ネットワーク連絡会
(障がい児・者団体との連絡会議)**

9月24日(火)

**憶地区ふれあいサロン
代表者情報交換会**

9月30日(月)

**ふれ愛交流事業
(障がい児・者団体との交流事業)**

あすなろの里 11月13日(水)



ボランティアの日 in あおき



子育てサロン

認知症見守り声かけ模擬訓練

山崎地区 11月22日(金)

**憶小2年生 生活科学習
施設見学・説明**

12月12日(木)

**憶小5年生 総合学習時間
高齢者福祉体験**

12月20日(金)

ボランティアの日 in あおき

新別府町自治公民館
12月21日(土)

みくに幼稚園 炊き出し訓練

1月28日(火)

**避難所運営訓練
(半実働型 HUG)**

3月1日(土)

子育てサロン

毎月第3木曜日 10:00~11:30

新別府町自治公民館
阿波岐原町自治公民館



見守りネットワーク全体研修会



ふれ愛交流事業

傾聴ボランティア あおきダンボの会 発足 10周年



私たちは、心から寄り添い、
お話を聴かせていただく
ボランティア団体です！

あおきダンボの会は平成26年11月に発足し、西野宏会長を筆頭に憶地域の福祉施設を中心に傾聴活動を10年間継続してきました。憶地域内の高齢者施設等に出向き、こころを込めてお話を聴きながら、一人でも多くの方に心安らく時間を提供することを目的に活動しています。現在は会員15名で憶地域の高齢者福祉施設3施設へ出向いて活動しています。今年度憶地区社協より12月の健康ふくしまつりの中で感謝状を贈呈させていただきました。



憶地区社協だより

みんなが安心 助け合う 福祉のまち 憶

第 32 号
令和 7 年
3 月

令和 6 年度の事業

憶地区健康 ふくしまつり

(まちづくりの祭典 in あおきと合同開催)

12月8日(日)
10:00~14:30

憶中学校体育館



今年の「健康ふくしまつり」は「まちづくりの祭典 in あおき」と合同で会場を憶中学校体育館と校庭にふくしエリアとして設け開催しました。その中でまちづくり推進委員会福祉部会と一緒に「お兄ちゃんとお姉ちゃんと遊ぼう」の子育て支援ブースとしてバルーンアート等を来場者と一緒につけてくれました。今年は初めてフリーマーケットも開催し10ブースの出店がありました。親子での出店も多く、売り手も買い手も楽しい時間を過ごしたようです。介護用品の展示、医療・薬局のお仕事体験、パラスポーツ体験、手話体験、ハンディーキャップ体験、血管年齢測定・骨密度測定等たくさんの内容で行いました。またヴィアマテラス宮崎の選手やみやねこも来場者と一緒にパラスポーツ等の体験をしてみつりを盛り上げてくれました。全体ではスタッフを含め約1400名の来場者があり大変賑やかなまつりになりました。



第 2 回 あおキッズ ふれあいフェスタ

8月18日(日)
15:00~19:00
新別府町自治公民館

「子どもたちと作る 子どもたちのためのお祭り」をスローガンに子どもたち主体のフェスタを開催しました。今年はお化け屋敷や宝探し等新しい内容にも挑戦し、来場者も約90名と大変にぎやかなフェスタとなりました。その中で小、中学生ボランティア25名が運営スタッフとして頑張り、準備から片付けまでみんな一生懸命フェスタを盛り立ててくれました。

